

第105回企画展

みんなの 「ごんぎつね」

にい み なん きち

～新美南吉からのメッセージ～



2019年7月13日(土)
～9月23日(月・祝)

©かすや昌宏

「ごんぎつね」(あすなろ書房刊)より

記念講演会

■各日14:00～15:30 ■無料・要事前申込 ■定員150名

8月3日(土)「ごんぎつね」をめぐる謎 講師:府川 源一郎氏 (横浜国立大学名誉教授
日本体育大学教授)

8月17日(土) わたしと「ごんぎつね」 講師:かすや 昌宏氏 (絵本作家)

9月8日(日) 愛と哀しみの作家 新美南吉の生涯と作品

講師:遠山 光嗣氏 (新美南吉記念館学芸員)

高校生による朗読

■各日14:30～14:50 ■申込不要 ※参加には企画展観覧券が必要

7月13日(土) 渡辺 陽与さん (桐生女子高校)

8月4日(日) 菊池 裕斗さん (前橋東高校)

9月7日(土) 大林 菜々さん (前橋育英高校)

第15回群馬県高校放送コンクール
入選者による「ごんぎつね」朗読

展示解説

7月13日(土)、8月4日(日)、9月7日(土)

■各日14:00～(20分間程度)

■申込不要 ※参加には企画展観覧券が必要

小学生向け展示解説

7月20日(土)、8月14日(水)、9月21日(土)

■各日14:00～(20分間程度)

■対象:小学生とその保護者

(小学生のみの参加も可)

■申込不要 ※保護者の方の参加には企画展観覧券が必要

記念講演会の申込、その他イベントのお問い合わせ先 ☎027-373-7721



群馬県立土屋文明記念文学館

Gunma Prefectural Museum of Literature
in Commemoration of Bunmei Tsuchiya



開館時間 9:30～17:00(観覧受付は16:30まで)

休館日 火曜日(8月13日は開館)

観覧料 一般 410円(320円) / 大高生 200円(160円)

()内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

ぐんま県民
カレッジ
連携講座

beyond
2020

〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 上毛野はにわの里公園内 TEL 027-373-7721

【協力】新美南吉記念館 【支援】朝日新聞社前橋支局 毎日新聞前橋支局 読売新聞前橋支局 東京新聞前橋支局 経産新聞前橋支局 上毛新聞社 群馬タイムス社 朝日ぐんま 群馬テレビ FM GUNMA ラジオ高崎 まえは!CITYエフエム いせさきFM FM OZE

みんなの「ごんぎつね」

に い み なん き ち ～新美南吉からのメッセージ～

「ごんぎつね」が小学4年生用の国語の教科書に初めて採用されたのは昭和31年。それ以降、多くの人々が「ごんぎつね」に出会い、その温かく切ない物語は世代を超えて愛され続けてきました。

本企画展では、「ごんぎつね」の作品世界や、作者・新美南吉の生涯を紹介します。かすや昌宏氏の光彩画による幻想的な空間「ごんぎつねのへや」も、見どころの一つです。



新美南吉 1913(大正2)年—1943(昭和18)年

懐かしい「ごんぎつね」と、ここで再び出会ってみませんか。

■ 記念講演会 各日14:00～15:30 定員150名 無料・要申込

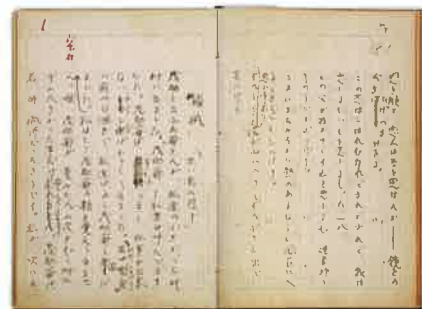
※事前に電話(027-373-7721)、もしくは当館受付カウンターにてお申し込みください。

8月3日(土)

「ごんぎつね」をめぐる謎

府川 源一郎氏(横浜国立大学名誉教授・日本体育大学教授)

1948(昭和23)年、東京都生まれ。博士(教育学)。日本文学協会、日本児童文学学会などに所属。著書に『消えた「最後の授業」一言葉・国家・教育』(大修館書店 1992年)、『「稲むらの火」の文化史』(久山社 1999年)など。



草稿「権狐」(複製)
南吉のノート(通称「スバルタノート」)に書かれている。



『赤い鳥』昭和7年1月号
「ごんぎつね」が初めて掲載された雑誌。

上記資料 新美南吉記念館蔵

8月17日(土)

わたしと「ごんぎつね」

かすや 昌宏氏(絵本作家)

1937(昭和12)年、兵庫県生まれ。1970年、至光社及びフランスcerfより、絵本『ちいさな はらっぱ』(詩・渡洋子)を出版する。1978年、絵本『のあのはこぶね』でポロニーヤ国際児童図書展批評家賞受賞。著書多数。



9月8日(日)

愛と哀しみの作家
新美南吉の生涯と作品

遠山 光嗣氏(新美南吉記念館学芸員)

1971(昭和46)年、愛知県生まれ。1994年から新美南吉記念館の学芸員として調査研究及び特別展や講座の運営などにあたる。最近の仕事に、新美南吉生誕100年全国巡回展の監修、図録『生誕百年 新美南吉』の執筆編集など。日本児童文学学会会員。



ぐんまちゃん来館

8月11日(日)～
8月14日(水)

9月21日(土)～
9月23日(月・祝)

※各日11:00～11:20
14:30～14:50



次回企画展 萩原恭次郎生誕120年記念「移りゆく時代と詩人たち」(仮称) 2019年10月5日(土)～12月15日(日)

交通のご案内

▼自動車

- ・関越自動車道前橋ICから15分
- ・伊香保温泉から30分

▼電車+タクシー

- ・JR東京駅から上越新幹線または北陸新幹線でJR高崎駅まで約50分
- ・JR上野駅から高崎線でJR高崎駅まで約1時間40分
- ・JR新宿駅から湘南新宿ライン(高崎線)でJR高崎駅まで約1時間40分
- ・高崎駅西口からタクシーで20分、高崎問屋町駅問屋口からタクシーで15分
- ※高崎駅→高崎問屋町駅はJR両毛線、上越線で1駅、約3分(1時間に数本)



▼バス

●高崎駅から

- ・群馬バス「榎東(しんとう)村役場」行き(西口2番バス乗り場から北高崎駅、上郊口(かみさとくち)、井出経由)保渡田(ほどた)バス停下車徒歩3分、片道430円 ※土日祝休
- ・市内循環バスぐるりん大八木線(西口9番バス乗り場から北高(きたこう)・浜川体育館コース【下り】、お帰りは北高・浜川体育館コース【上り】)井出町西(いであちにし)バス停下車徒歩15分、片道200円

バス時刻表(2019年5月現在)

※頻繁に変更があるためご確認の上お出かけください。

高崎駅発	若(下車バス停)
7:35(土日祝休)	群馬バス 7:53 保渡田
9:45	ぐるりん 10:20 井出町西
10:35(土日祝休)	群馬バス 10:57 保渡田
11:41	ぐるりん 12:16 井出町西
13:40	ぐるりん 14:12 井出町西
14:35(土日祝休)	群馬バス 14:57 保渡田
15:22	ぐるりん 15:57 井出町西

発(乗車バス停)	高崎駅着
9:56 井出町西	ぐるりん 10:28
11:52 井出町西	ぐるりん 12:27
13:25 井出町西	ぐるりん 14:00
14:03 保渡田(土日祝休)	群馬バス 14:36
15:15 井出町西	ぐるりん 15:50
16:03 保渡田	群馬バス 16:36
17:02 井出町西	ぐるりん 17:38
18:03 保渡田	群馬バス 18:36

※高崎駅→前橋駅はJR両毛線で1駅、約15分(1時間に3本程度)

●前橋駅から

・関越交通バス「土屋文明文学館」行き(北口5番バス乗り場から県庁前、NHK東、三ツ寺、かみつけの里博物館前経由)土屋文明文学館バス停(終点)下車徒歩1分、片道430円、前橋駅→土屋文明文学館は約30～35分

前橋駅発	文学館発
平日	土・日・祝
8:40	8:40 9:45 9:45
10:30	10:50 11:45 11:30
12:30	12:40 13:15 13:50
14:00	14:55 14:55 15:45
15:55	16:55 17:35
	18:25

群馬県立土屋文明記念文学館
Gunma Prefectural Museum of Literature
in Commemoration of Bunmei Tsuchiya

〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 上毛野はにわの里公園内
TEL:027-373-7721 FAX:027-373-7725

はにわとシルクと文学の
高崎北ミュージアムトライアングル

かみつけの里博物館 〒370-3534 群馬県高崎市井出町1514 TEL 027-373-8880

群馬県立日本館の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 TEL 027-360-6300